

第6章 重点項目「財政」

強化項目⑤

財務管理・経営管理体制の強化

柔軟な法人運営や自主事業の強化を図っていただけるよう、自主財源の確保と収支バランスの適正化に取り組みます。

具体的な取り組み

財源確保に向けた取り組み

【概要】 小地域福祉活動など自主事業の財源確保に取り組みます。

<会員の増強>

- 市民に活動を応援してもらえるよう、会費の使いみちや川口市社協の必要性がわかるような資材の研究や、会員種別に合わせたP R・募集活動を行います。

<財源確保提案制度の促進>

- 職員に制度の利用を促しつつ、必要に応じて、より提案しやすい制度に見直しを図ります。

<新たな財源確保の研究>

- 新たな財源確保の方法として「遺贈」について研究し、必要に応じて実施に取り組みます。


職員ひとりひとりが



- 自主財源の重要性を理解し、担当する業務や地区において積極的に会員制度のP Rを行います！
- 自主財源を確保するため、様々なアイデアを考えます！

具体的な取り組み	介護保険事業及び障害福祉サービス事業の経営強化
<p>【概要】 自主財源を確保しつつ、安定した事業経営に取り組みます。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○経営検討会議において、各事業の収支状況の分析や業務の効率化を検討し、その結果を職員に周知することで、ひとり一人の経営意識の向上に努めます。 ○利用者の獲得に向け、ノウハウを学んで営業力を強化し、関係機関への積極的な営業活動を行います。 ○人材（有資格者）を確保するため、有資格状況の管理と資格保有者の確保、離職を防ぐ環境整備を行います。 	

具体的な取り組み	収支バランスの適正化
<p>【概要】 必要な事業に資金投入できるよう、引き続き収支改善の検証や見直しに取り組みます。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○自主財源を充当する事業について、その必要性や効果、今後の事業の展望を把握しながら、限られた財源の有効活用を図ります。 ○収支バランスの状況から可能であれば、資金投入すべき事業等について検討を行います。 	

具体的な取り組み	職員の経営意識の向上
<p>【概要】 厳しい財政状況で法人を運営する中、重要となる職員の経営意識（コスト意識・先見性・バランス感覚など）の向上に取り組めます。</p>	
<p>○職員ミーティングを活用して、職員の経営意識を高める研修を行うほか、決算期に法人の経営状況の説明と報告を行い、職員の現状理解を深めます。</p>	
<p>職員ひとりひとりが</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日常業務において事務改善に努めます！ ■ 経営意識や感覚を高めるため、内部研修に意欲的に参加します！

強化項目⑥**行政との財政的な連携の強化**

全市的に福祉事業を展開していくうえで、説得力をもって川口市の公費財源を得られるよう、内部での提案力の強化や、日頃からの業務を通じた連携や相互理解の促進に取り組みます。

具体的な取り組み**行政への提案の強化、相互理解の促進**

【概要】 法人全体に影響する総合的な取り組みや、特定の事業に属さないような取り組みについて、適切なタイミングで行政に財政面・事業面での支援や連携を提案できるよう、日頃から内部で課題の把握や分析を行うとともに、行政との相互理解の促進に取り組みます。

- マネジメント会議や課長会議等において、中・長期的な視点のもと、行政への提案や要望が必要な事項を協議・検討し、必要に応じて提案を行います。
- 予算や事業の折衝時などの様々な機会を通じて、川口市社協の意義や必要性、行政側の立場や方針等について意見交換を行い、双方の理解の促進や認識の共通化を図ります。